

20/8 期は半導体製造装置向け回復で 17.9%増収 53.6%営業増予想、21/8 期も上振れ期待

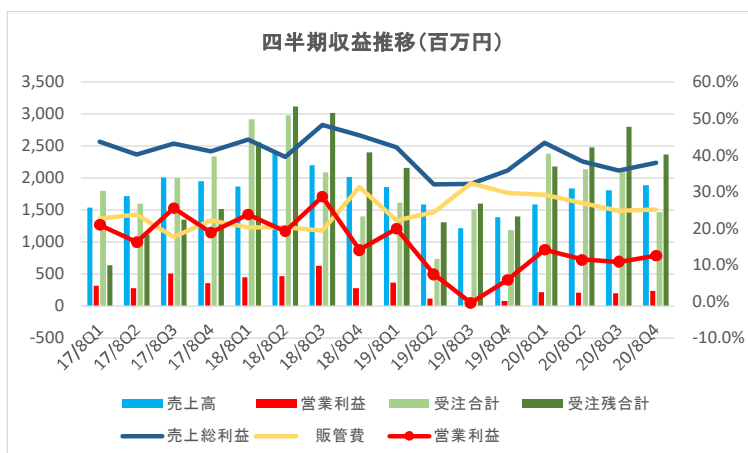
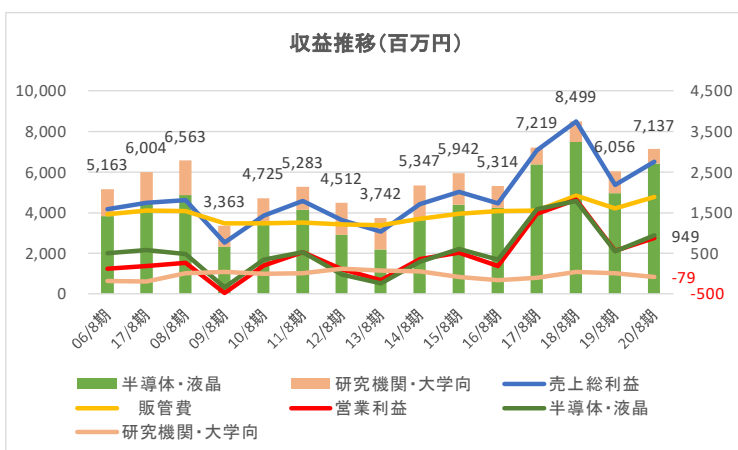
株価 (10/30) 1134 円 時価総額 97 億円 発行済株 8,586 千株
 PER (DO21/8 期予 : 13.0X) PBR (1.62X) 配当 10 円 配当利回り 0.9%

要約

- 20/8 期 17.9%増収、53.6%営業増、受注 60.4%増と急回復も一部遅延で会社計画は未達
- 21/8 期は 5.1%増収、8.6%営業増予想と上期の受注遅延で収益伸び悩みも下期は増額含み
- 22/8 期は 5G 端末本格普及、次世代成膜装置向け拡大寄与し最高益更新へ
- 株価は半導体製造装置向けプラズマ電源受注回復を見込みアウトパフォーム継続

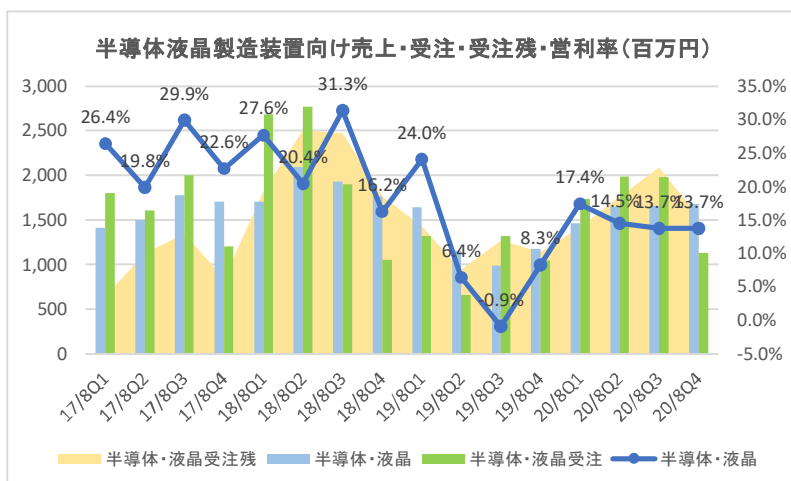
20/8 期 17.9%増収、53.6%営業増、受注 60.4%増と急回復も一部遅延で会社計画は未達

20/8 期決算が 10/14 に開示され、10/20 に決算説明資料が開示された。20/8 期は売上高 71.37 億円 (17.9%増)、営業利益 8.74 億円 (53.6%増)、受注高 81.11 億円 (60.4%増) と、5G やデータセンタ関連投資増で半導体設備投資が復調、半導体製造装置向けの受注増で収益が急回復した。但し 1/10 に増額修正した予想に対しては Q4 が売上高で 2.64 億円、営業利では 1.76 億円未達成で着地した。Q4 が前年同期比 35.8%増収、営業利 2.9 倍となったが、Q3 比では 14.6%増収、23.0%営業増も受注が 30.7%減と伸び悩んだことが主因。



セグメント別では半導体・液晶関連事業が売上高 64.35 億円 (前年同期比 29.7%増、営業利益 9.49 億円 (70.4%増)、受注高 68.30 億円 (57.4%増)、受注残高 15.35 億円 (34.6%増) と、5G 向け半導体

製造装置を中心に受注急回復で収益も上伸、会社計画を上回る収益となったとのこと。なお売上で最大仕向先が ASM フロントエンドマニュファクチャリングシंगाポール（金額は 7.81 億円）となり、ASM がプラズマ原子層堆積（PEALD）やプラズマ



化学蒸着装置（PECVD）の大手半導体製造装置メーカー（世界 10 位）であり、注目に値する。但し Q4 ではコロナ影響や米中摩擦激化、主要顧客のオプトラン向けにアップルの発注が遅れているなどで受注が 11.31 億円（前年同期比 8.5%、Q3 比 42.8%減）と勢いが失速している。これが新年度に影響するとのこと。一方、IDX 関連は売上高 7.01 億円（36.0%減）、営業損失 0.79 億円（0.85 億円悪化し赤字転落）、受注高は 12.81 億円（78.4%増）、受注残 8.39 億円（3.2 倍）に。Q1 に重粒子線治療装置向け受注を獲得し、Q4 に納入予定（その他含め 4 億円程度）だったものが期ずれし、受注残は膨らんでいるが売上が計画比 4 億円程度未達成となり、ウエハ引上用装置向け電源も一服し赤字転落に。今回の会社計画未達成はこの影響が主因とのこと。

21/8 期は 5.1%増収、8.6%営利増予想と上期の受注遅延で収益伸び悩みも下期は増額含み

21/8 期会社計画は売上高 75 億円（5.1%増）、営利 9.5 億円（8.6%増）、経常利益 9.2 億円（3.5%増）、税引利益 6.6 億円（1.7%増）予想とした。上期が前 Q4 の半導体製造装置向け受注の一服、またスマホの伸び悩みによる成膜装置向けプラズマ電源受注の低迷、メモリ用エッチング装置向けプラズマ電源も設備投資の遅れなどが影響する。さらに利益面では、期ずれした重粒子線治療装置（山形大学医学部重粒子線センターが 10/より受信予約を始め、21/2 に重粒子線照射を開始予定）が計上される見通しで MIX 悪化から利益率低下、7.6%増収ながら 4.0%営利減予想となる事などが伸び悩みの要因。しかし下期は 5G 端末の本格的な拡大からカメラレンズの複眼化加速、筐体のガラス化による成膜装置によるコーティング需要の高まり、メモリも 3DNAND フラッシュ向けエッチング装置が多層化の進展でチャンパー数の増加が加速する見通しなどで受注が再度拡大しよう。

IDX は大学・研究所向けが引き続き低迷、重粒子線治療用電源受注も山形県の次は 2025 年の沖縄に治療設備開業予定と間隔が開き、海外向けの治療装置も治験が増えず認証が進まず苦戦が続こう。また直流バイポーラ電源などスマホ、半導体製造向け新規分野もコロナ影響で開拓営業が進まず売上計上寄与はわずかと見られ、全体として売上は 11 億円程度と

期ずれの増分以外は横ばいで、利益も収支均衡が上限とのことで、実際は赤字継続の可能性が高い。

全体を通じ、下期に半導体製造装置向けプラズマ電源の受注拡大が見込まれるものの、売上の本格寄与は 22/8 期にずれの見通しで、21/8 期は下期多少上振れするものの、会社計画を若干上回る収益に止まろう。

22/8 期は 5G 端末本格普及、次世代成膜装置向け拡大寄与し最高益更新へ

22/8 期は 5G 端末の本格普及に加え、車載向けなどでもカメラ、LiDAR などの光学センサ需要、さらには AR,VR,MR などの新端末でも成膜装置ニーズが高まり、オプトランの新製品群向けプラズマ電源の拡大が見込まれる。またエッチング装置向けプラズマ電源も 3DNAND の積層数加速による多チャンバー化が追い風となり、19/12 に生産能力増強が整い本格稼働を始めたベトナム工場の収益寄与が本格化しよう。

また IDX は新開発の高電圧直流電源装置がタッチパネル製造装置向けに新規受注拡大が期待でき、バイポーラ電源の量産を行うために、アドテックベトナムへの生産移管も進めている。さらにプラズマ医療機器のステリプラスは遅れている欧州での保険適用が認められれば、新たな柱として拡大が期待される。このような環境から 22/8 期には収益上伸が見込まれ、過去最高益更新が期待される。

株価は半導体製造装置向けプラズマ電源受注回復を見込みアウトパフォーム継続

株価は 7/10 の Q3 決算が好調であったものの、コンセンサスに届かなかったとして 7/13 の株価は下振れ、さらに重粒子線治療用電源の売上が冷却装置の不具合で数ヶ月の延期となった事で 20/8 期に計上されない等で 7/31 には 1002 円の年初来安値をつけ、その後は戻り歩調にある。今回の決算発表でこの影響から全体では減額となったものの、半導体製造装置向け電源は計画を上回っている。現状、主要納入先のオプトランの大口受注が期ずれしていることもあり上期の収益は厳しいものの、下期以降は収益拡大に加速がつく見通し。現状、会社 21/8 期予想 EPS76.9 円に対し、PER14.75 倍は東証 2 部電機平均 PER26.9 倍に対し割高感はなく、悪材料も出尽くし感がある。当面、上期収益が冴えない中で株価は大きな動きはない模様も、オプトランのアップル次期モデル向け大型受注獲得が確認されれば 1/24 の年初来高値 2030 円（会社予想 PER でほぼ東証 2 部電機平均 PER）を目標に株価上昇が期待されるため、アウトパフォーム継続とする。

アドテックプラズマテクノロジー(6668)										(百万円、円)	
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当	
19/8期	6,055	-28.8%	569	-68.8%	515	-72.1%	352	-72.9%	41.0	8.00	
20/8Q1	1,595	-14.1%	227	-38.7%	286	-21.9%	201	-26.4%	23.5	0.00	
20/8Q2	1,842	16.1%	210	5.0%	218	59.1%	167	92.0%	19.4	4.00	
20/8Q3	1,808	48.3%	196	黒転	140	黒転	96	黒転	11.2	0.00	
20/8Q4会予(7/10)	2,155	54.7%	414	398.8%	456	776.9%	305	376.6%	35.5	4.00	
20/8Q4	1,892	35.8%	241	190.4%	245	371.2%	184	187.5%	21.5	6.00	
20/8H1	3,437	-0.2%	437	-10.7%	504	0.0%	368	2.0%	43.0	4.00	
20/8H2期初会予	3,900	49.4%	430	444.3%	430	3809.1%	310	黒転	36.1	4.00	
20/8H2修正会予(4/10)	3,963	51.8%	613	675.9%	596	5318.2%	402	黒転	46.7	4.00	
20/8H2	3,700	41.7%	437	453.2%	385	3400.0%	280	黒転	32.6	6.00	
20/8期期初会予	7,000	15.6%	710	24.7%	710	37.8%	490	39.2%	57.1	8.00	
20/8期修正会予(1/10)	7,400	22.2%	1,050	84.5%	1,100	113.6%	770	118.8%	89.7	8.00	
20/8期	7,137	17.9%	874	53.6%	889	72.6%	648	84.3%	75.6	10.00	
21/8H1会予	3,700	7.6%	420	-4.0%	400	-20.7%	280	-24.1%	32.6	5.00	
21/8H2会予	3,800	2.7%	530	21.3%	520	35.1%	380	35.7%	44.3	5.00	
21/8期会予	7,500	5.1%	950	8.6%	920	3.5%	660	1.7%	76.9	10.00	
21/8H1DO予	3,700	7.6%	420	-4.0%	400	-20.7%	280	-24.1%	32.6	5.00	
21/8H2DO予	4,200	13.5%	630	44.2%	620	61.0%	470	67.9%	54.8	5.00	
21/8期DO予	7,900	5.3%	1,050	10.5%	1,020	10.9%	750	13.6%	87.4	10.00	
22/8期DO予	10,000	26.6%	1,900	81.0%	1,870	83.3%	1,360	81.3%	158.4	16.00	

年度	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期	21/8期 会予	21/8期 DO予	22/8期 DO予
売上高	7,219	8,499	6,056	7,000	7,400	7,137	7,500	7,900	10,000
売上総利益	3,036	3,756	2,181	2,390		2,761		3,100	4,200
販管費	1,550	1,929	1,611	1,680		1,887		2,050	2,300
営業利益	1,486	1,827	569	710	1,050	874	950	1,050	1,900
経常利益	1,512	1,845	515	710	1,100	889	920	1,020	1,870
親株主帰属純利益	1,136	1,300	352	490	770	648	680	750	1,360
セグメント売上情報年度	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期	21/8期 会予	21/8期 DO予	22/8期 DO予
半導体・液晶	6,390	7,483	4,960	5,800	6,200	6,435		6,800	8,800
研究機関・大学向	828	1,017	1,096	1,200	1,200	701		1,100	1,200
合計	7,219	8,500	6,056	7,000	7,400	7,137	7,500	7,900	10,000
セグメント営業利益	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期	21/8期 会予	21/8期 DO予	22/8期 DO予
半導体・液晶	1,586	1,786	557			949		1,050	1,850
研究機関・大学向	-100	43	6			-79		0	50
営業利益	1,486	1,827	569	710	1,050	874	950	1,050	1,900
セグメント受注	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期	21/8期 会予	21/8期 DO予	22/8期 DO予
半導体・液晶	6,605	8,401	4,338			6,830		7,300	8,900
研究機関・大学向	1,132	983	718			1,281		800	1,300
受注合計	7,737	9,384	5,056			8,111		8,100	10,200
セグメント受注残	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期	21/8期 会予	21/8期 DO予	22/8期 DO予
半導体・液晶	844	1,762	1,140			1,535		2,035	2,135
研究機関・大学向	671	637	259			839		539	639
受注残合計	1,515	2,402	1,399			2,374		2,574	2,774
年度	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期	21/8期 会予	21/8期 DO予	22/8期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上総利益	42.1%	44.2%	36.0%	34.1%		38.7%		39.2%	42.0%
販管費	21.5%	22.7%	26.6%	24.0%		26.4%		25.9%	23.0%
営業利益	20.6%	21.5%	9.4%	10.1%	14.2%	12.2%	12.7%	13.3%	19.0%
経常利益	20.9%	21.7%	8.5%	10.1%	14.9%	12.5%	12.3%	12.9%	18.7%
親株主帰属純利益	15.7%	15.3%	5.8%	7.0%	10.4%	9.1%	9.1%	9.5%	13.6%
セグメント営業利益率	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期	21/8期 会予	21/8期 DO予	22/8期 DO予
半導体・液晶	24.8%	23.9%	11.2%			14.7%		15.4%	21.0%
研究機関・大学向	-12.1%	4.2%	0.5%			-11.3%		0.0%	4.2%
営業利益	20.6%	21.5%	9.4%	10.1%	14.2%	12.2%		13.3%	19.0%

アドテックプラズマと納入先大手のオプトラン（6235）、プラズマ電源最大手ダイヘン（6622）、第3位の京三製作所（6742）の株価推移

